

客観的な指標の算出方法について

本学では、成績評価の客観的指標として、合格した成績評定を S、A、B、C、の 4 段階で行い、成績を平均化した GPA を全学的に導入している。

(1) GPAの定義

GPAについて、GPA対象授業科目のうち、履修登録した科目（履修登録後、履修取消を行わなかった科目も含む。）について、それぞれの単位数にグレードポイント（4、3、2、1、0のいずれか）を掛け、その合計ポイントを、それぞれの単位数の総和で割ったものとして定義している。

《算出方法》

$$A = \frac{GP}{\text{履修科目の単位数の合計（※未修得の履修科目の単位数も含む）}} \times \sum (\text{Grade Point} \times \text{履修科目の単位数})$$

※単位認定（N）された科目の単位数は含まず

(2) 成績評価の評定記号と付加するグレードポイント

成績評価は、点数方式で行われ、以下の評定記号（S～D、N）に応じ、それぞれの評定区分に応じたグレードポイント（GP）が不可される。

評価区分	評定記号と評価内容	付加するGP
100～90点	S（秀）：特に優れた成績	4
89～80点	A（優）：優れた成績	3
79～70点	B（良）：概ね妥当な成績	2
69～60点	C（可）：合格に必要な最低限度を満たした成績	1
59～0点	D（不可）：合格に至らない成績	0
	N：単位認定科目で、GPAの対象としない	なし

(3) GPAの対象となる授業科目

適用除外科目を除くすべての授業科目がGPAの対象となる。

以下の科目は、適用除外科目である、GPは付加されない。

- ① 他大学等で単位修得し、本学が「認定」とした授業科目（既修得単位認定科目など）
- ② 履修登録後、適切な手続きにより履修取消を行った科目

(4) GPAの種類

本学では、以下の2種類のGPAを算出し、学生に通知している。

- ① 通算 GPA 入学時からの履修科目すべての成績評価を対象として算出
- ② 当該年度 GPA 当該年度の履修科目の成績評価を対象として算出

(5) 再履修した科目のグレードポイント

本学では、不合格となった科目について、再履修して合格した場合、過去に算出した年度GPAでは、不合格になったときの成績のGPを算出対象に入ったままとなるが、通算GPAでは、以前に不合格となったときの成績はGPA算出対象外となり、再履修時の成績のGPのみが算出対象となる。

本学では、学生の成績挽回への努力を奨励するため、通算GPAでは再履修分のみを算出対象としている。